



# アクトエノン

NO. 67

名古屋市演劇練習館機関紙

## エッセイ

### ■「ホーム&アウェー」



ままごと公演「わが星」  
'09年10月8日～12日  
三鷹市芸術文化センター  
星のホールにて

今年10月に愛知芸術文化センターで上演する「あゆみ」の稽古がいよいよ始まります。8月から約2ヶ月、場所はアクトエノン、東海出身もしくは在住の出演者8名。今から稽古が楽しみでしょうがありません。

どうも、柴幸男と申します。愛知県木曾川町に生まれて、劇作家を目指して上京。名古屋での長編創作は高校演劇以来の10年ぶりになります。夏の名古屋も10年ぶり。稽古はもちろん、その他にもしたいことが沢山あります。名古屋独特の無風灼熱の夏を自転車で走りたい、ドラゴンズ姿のナナちゃん人形を見たい、などなど。

そして今、僕はホームとアウェーについて考えています。

昨年、高校時代からの遠い夢だった岸田國士戯曲賞をいただきました。それから、いや本当はその前から少しづつ、アウェーだと思っていた東京がホームとなり、向かいたい目的地が、見えなくなりました。ありがたいことに、多くの方に名前を知ってもらえました。観に来てくれる人も増えました。そんな恵まれた環境になればなるほど、なぜか、本当になぜか、むなしくなっていくのでした。

思えば、自分の作品を気にしてもらえるようになった最初のきっかけは長久手町文化の家での\*「劇王」だったと思います。そのとき上演した「反復かつ連続」が、僕にとってひとつのターニングポイントでした。

あの頃は、まだ僕の作品を見たことがない人に、どうしたら驚いてもらえるか、面白いと思ってもらえるか、それだけを必死で考え、どこへ行くにもアウェーに向かうつもりで上演していました。あ

### 柴 幸男 (劇作家・演出家・ままごと主宰)

頃の衝動を求めて僕は東京を離れ、新しいお客さんがいる名古屋での公演を決めたのです。

しかし、本当にそうなのでしょう。もしかしたら、名古屋こそが僕のホーム(=居心地の良い場所)なのではないか。僕は逃げているだけではないか。東京を離れる間際になってそんな考えが生まれてきました。

観てくれる人が増えると同時に、期待されたり、批評される機会も増えました。ありがたくも居心地が悪い、それが小心者の僕の正直な気持ちでした。「反復」以降、色々な作品を書き、演出をしてきましたが、これも正直に言えば、全てが会心の出来とは言えません。お客さんを、そして自分を、がっかりさせるようなことがあったと思います。それを、名古屋の人たちは知りません。まだ、幻のように生まれた「反復」のイメージをもって来ている。僕はもしかしたらそれにすがろうとしているだけなのかしれない。

ならば、やはり、僕はここから旅立たなければいけない。気が早いんだかなんか自分でもよくわかりません。とにかくまずは「あゆみ」を作り、名古屋の人達に今一度、僕が何者なのかを知ってもらいたい。そして名古屋で作った「あゆみ」を岐阜、大阪へと連れて行く。東京、名古屋を経て、まったく知らない誰かへ届ける。怖くもあり、昔のがむしゃらな気持ちがよくみがえってくるようでもあります。僕の目的地をもう一度見つめ直す、夏がはじまります。

\*上演時間20分・役者3名以内という制約のもとで上演される短編演劇イベントでチャンピオン劇王を選ぶ。柴幸男氏は第4代劇王です。

## トピックス

### ■ 芸術創造賞を受賞して、も。



第10回愛知県芸術劇場演劇フェスティバル参加  
劇団あおきりみかん  
「ここまでがユートピア」  
'10年5月20日～23日 愛知県芸術劇場小ホールにて

### 鹿目 由紀 (劇団あおきりみかん主宰・劇作家・演出家)

受賞の電話を頂いた日は、本番間近で劇場入りしていた。私は長い髪のカツラを、急いで被って出て行かなければならない場面を稽古していた。演出である私は、役者としてその場面をキチンと稽古した事がなかった。本番2日前、はじめての稽古だった。とにかく一生懸命カツラをかぶって舞台上に出た。突然、劇団員の松井くんが凄顔で笑った。「なにを失礼な！ そんなにカツラが似合わないのか！」と憤慨した。よく見たらカツラが表裏逆で、中の網の丸い部分が出ていて落武者のハゲガツパみたいになっていた。そんな稽古の直後、「受賞しました」という電話があった。

授賞式の日は、会津の実家から母を呼び、それなりにおめかしして、緊張しつつ臨んだ。事業団の理事長ほか、ずらりと並ぶ立派な人々。大学の恩師もいる。劇団員も数名出席している。受賞者は私一人なので皆さんが私に注目している。緊張する。「それでは鹿目さん、前へどうぞ」と言われた。ああ…緊張する。そして賞状と純銀製のメダルが埋め込

まれた立派な額縁を受け取った瞬間、メダルがぼろりと落ちて私の足の親指を直撃したのち、おむすびころりんの如く転がっていったではないか。それが私の芸術創造賞授賞式である。

いつも見る夢がある。大学の単位を落として卒業できなくなる夢だ。実際の私もきちんと4年で卒業できず、半年ほど余分に大学に通った(ほんの半分だ)。卒業して12年、いまだに台本の締切が近くなると、この夢を見る。そうなのだ、いつもこんな気持ちで生きている。いつもダメだなぁと思いつつ芝居を続けている。これから先もこの夢を見続け、前述のような「おっちょこちょい」をやり続けるに違いないのだ。今回、賞を頂いて一つだけ分かった事、ありがたい事があるとするれば、どうせ私はこんな私でしかあり得ないので、私を偽ることなく、素晴らしいものをつくって生きていくのだ、という「確認」がちょこっと出来た事。背伸びもなく、背縮みもなく、そうそう、これくらいの感じで。

# アクテノン・シャワー

## 「アクテノン・フェスティバル」のご案内

日頃、アクテノンを利用している皆様と地元の芸術団体の皆様(14団体)、野外劇場で演劇・音楽・舞踊などの公演を繰り広げます。今年も学校法人同朋学園にご協力をいただき、パワーアップした「アクテノン・フェスティバル」を開催いたします。ぜひ皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

日時：平成22年10月2日(土)・3日(日)(開演は各日とも13:00です。)  
会場：アクテノン野外劇場(雨天中止)  
入場料：無料  
運営：アクテノン・フェスティバル プロジェクトチーム  
主催：財団法人名古屋市文化振興事業団  
中村アクターズタウン実行委員会  
芸どころNAGOYA参加事業  
※出演者・内容等につきましては演劇練習館までお問い合わせください。

駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

## 発声のワークショップを開催します。

毎年、ご好評をいただいている「演ずる人のための発声講座」を、今年も開催いたします。なかなか学ぶ機会が少ない「発声方法」について、ぜひこの講座で体験してみてください。

開催日：平成22年10月23日(土)～24日(日)  
(2日間連続の講座です。)

会場：アクテノン 5階 リハーサル室  
講師：金 末順 (ボイスファクトリーすにい代表)  
受講料：2,000円  
定員：20名

※講座申込み受付開始日は9月22日(水)より先着順。

## アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

### 演劇 トライフル



トライフルは片山雄一が東京の劇団NEVER LOSEに所属しながら、名古屋で活動するために結成、2010年2月の千種セレクション参加を皮切りに始動しました。

単身長期滞在しながら、今後は名古屋以外の土地でも活動することを視野に入れています。

11月の次回公演は、演出の片山が地元俳優と共に、男性芝居「タバコトーク」と、女性芝居「ドーナツトーク」の二本立て。

劇団員も随時募集していますので、興味を持って下さった方はいつでもご連絡下さい。

①2010年 ②5名

③地上から110cm/名古屋市千種文化小劇場('10)

④片山 雄一  
http://trifle.tv  
E-mail:info@trifle.tv

**アクテノンに一言** 東京での稽古場の獲得は本当に難しい問題で、演劇は基本的に禁止です。アクテノンは日本の演劇施設を代表する理想的な環境です。これからも、新しい才能を育てる取り組みに期待しています。

### 演劇 Teatro magico di mercurio



テアトロ・マジコは、舞台装置の釘抜きをしながらの会話から、ひょっこり魔法のように生まれた企画です。芝居って何だろう？ 楽しくって無条件でワクワクする瞬間ってどんな時？ 誰もが心踊らせる演劇の始まりの部分をもう一度見詰め作りたい。その想いを元に様々なジャンルの50名以上の人と共に立ち上げ創っています。9月10～12日ちくさ座で、「真夏の夜の夢2010」と題し、シェイクスピアから400年の時を越え、現代の祝祭劇を目指し、ひと時の魔法＝マジコをお届けすべく奮闘中です！

①2009年 ②50名

③真夏の夜の夢2010/名古屋市千種文化小劇場('10)

④涙 銀子  
http://www.joyspark.com/magico/  
E-mail:i\_mizu\_jk@yahoo.co.jp

**アクテノンに一言** いつも大人数にて大変お世話になっております。名古屋にアクテノンという場があってこそ、私達は心置きなく芝居を作って行けるのだと思っております。これからも演劇を愛する人と共にあって下さい。

## 公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<b>劇工房創芝社公演</b> <b>秀作二撰</b> <b>『つゆのひめま』『息子』</b>	<b>①</b> 名古屋市千種文化小劇場 <b>②</b> 9月17日(金) 7:00、18日(土) 2:00 7:00、19日(日) 2:00 <b>③</b> 一般 3,000円 中高 2,000円 <b>④</b> ☎052-834-9918 秀作二撰として時代物を二本上演。どちらも運のない若者が登場。現代とどこか似ている。
<b>ままごと×あいちトリエンナーレ</b> <b>『あゆみ』</b>	<b>①</b> 愛知県芸術劇場小ホール <b>②</b> 10月15日(金) 6:00 <b>③</b> 一般前売 2,500円(当日 2,800円) 高校生以下 1,500円(前売・当日とも) <b>④</b> ☎090-2561-8730(劇団) 『わが星』で岸田戯曲賞を受賞した柴幸男の代表作『あゆみ』が、ついに再演決定!!
<b>即興パフォーマンス まねきねこ☆</b> <b>第34回公演</b> <b>『ジョハリの窓』</b>	<b>①</b> ユースクエア(名古屋市青少年交流プラザ) プレイルーム <b>②</b> 『秘密の窓編』10月23日(土) 6:00、『盲点の窓編』10月24日(日) 2:00 <b>③</b> 前売 1,000円(当日 1,500円) 2回通し券前売1,500円(参加協力費として) <b>④</b> ☎090-3854-0126(劇団) インプロ(即興演劇)と歌謡ショーをお楽しみ下さい。2つのテーマ。秘密と盲点。
<b>トライフルVol.2</b> <b>二本立て公演</b> <b>『タバコトーク×ドーナツトーク』</b>	<b>①</b> セツ寺共同スタジオ <b>②</b> 11月11日(木)～11月21日(日)(日程調整中。詳細はHPをご覧ください。) <b>③</b> 一般 2,500円(共通) 学生 1,500円 セット券 3,500円 <b>④</b> info@trifle.tv (090-9296-5569) 片山雄一の名古屋発演劇ユニット第二回公演、どうぞお楽しみに!



編集発行/平成22年8月25日(年4回)  
 (財)名古屋市文化振興事業団 名古屋市演劇練習館(アクテノン)  
 〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47  
 TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632  
 ※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

